【資料1】 海域対策に係る各施策・プロジェクト実施状況一覧表

目標要素	小目標	施策・プロジェクトの名称	施策・プロジェクトの概要	具体的な施策実績（令和6年4月～令和7年3月）	具体的な施策実績（令和7年4月～令和7年12月）	今後の施策予定（令和8年1月～令和8年3月）	今後の施策予定（令和8年度）	施策実施部局
豊かな水環境の実現	多様な生物が生息する、「江戸前」の恵み豊かな海	浚渫土砂等の高度利用の推進	浚渫土砂や建設副産物（スラグ等）の高度利用に向けた施策を推進する。	①海域における建設発生土を有効活用し、川崎港東扇島沖に存在する深掘跡埋め戻しを実施。 ②多摩川の良質な浚渫土砂を有効活用し、羽田空港沖に浅場造成を実施。 ③陸上建設発生土を有効活用し、千葉県富津沖に存在する窪地の埋め戻しを実施。	①海域における建設発生土を有効活用し、川崎港東扇島沖に存在する深掘跡埋め戻しを実施。 ②多摩川の良質な浚渫土砂を有効活用し、羽田空港沖に浅場造成を実施。 ③陸上建設発生土を有効活用し、千葉県富津沖に存在する窪地の埋め戻しを実施。	①– ②多摩川の良質な浚渫土砂を有効活用し、羽田空港沖に浅場造成を実施。 ③陸上建設発生土を有効活用し、千葉県富津沖に存在する窪地の埋め戻しを実施。	①海域における建設発生土を有効活用し、川崎港東扇島沖に存在する深掘跡埋め戻しを実施。 ②多摩川の良質な浚渫土砂を有効活用し、羽田空港沖に浅場造成を実施。 ③陸上建設発生土を有効活用し、千葉県富津沖に存在する窪地の埋め戻しを実施。	関東地方整備局港湾空港部
		臨海部企業等が有する護岸の改修に対する技術的支援・助言	臨海部企業等が所有する護岸を改修する際に、環境機能を付加させる技術の支援・助言を行う。	・港湾施設の設計・工事における環境保全の配慮に係る取組の強化を目指し、技術基準に関する検討会議を7、10、12月に開催した。	・令和7年4月に「港湾の施設の技術上の基準・同解説」の部分改定により、「環境等への配慮」において、ブルーインフラの活用が明記された。 ・生物生息環境に配慮した港湾整備を実現するため、港湾整備におけるブルーインフラの広域的な環境への効果を考慮した生息場の評価手法を開発する。 ・港湾における気候変動適応策・緩和策の更なる実装推進を目指し、技術基準に関する検討会議を10月に開催した。	・引き続き、港湾整備におけるブルーインフラの広域的な環境への効果を考慮した生息場の評価手法を開発する。	・引き続き、港湾整備におけるブルーインフラの広域的な環境への効果を考慮した生息場の評価手法を開発する。	国土交通省港湾局
		ブルーカーボンの調査研究・技術開発の推進	生物多様性にもつながる海洋（沿岸域）における炭素貯留（ブルーカーボン）の調査研究・技術開発・活用方策検討を推進する。	・ブルーカーボンの活用に向けて、有識者の知見に基づく議論により施策の方向性を検討するため、有識者及び関係機関で構成される「地球温暖化防止に貢献するブルーカーボンの役割に関する検討会」を昨年度に続き2月に開催した。 ・ブルーインフラの整備効果確認等を目的に、海草藻場・海藻藻場によるCO2吸収量を把握するため、グリーンレーザー搭載ドローン（以下「GLドローン」）、藻場の繁茂面積を高精度かつ効率的に把握・管理するシステム「Blue carbon Data Archive System（以下「BDAS」）」及びGLドローンによる藻場計測マニュアルの開発を実施した。 ・港湾施設の設計・工事における環境保全の配慮に係る取組の強化を目指し、技術基準に関する検討会議を7、10、12月に開催した。	・国連気候変動枠組条約(UNFCCC)事務局に毎年提出が義務付けられている温室効果ガス排出・吸収量の報告（2023年度）において、ブルーカーボン生態系のうち、海草藻場・海藻藻場による吸収量を合計約34万 t-CO2/年と算定し、報告した。 ・令和7年度第1回「地球温暖化防止に貢献するブルーカーボンの役割に関する検討会」を8月に開催した。 ・港湾における気候変動適応策・緩和策の更なる実装推進を目指し、技術基準に関する検討会議を10月に開催した。 ・GLドローン、BDAS及びGLドローンによる藻場計測マニュアルの開発を実施した。	・令和7年度第2回「地球温暖化防止に貢献するブルーカーボンの役割に関する検討会」を2月9日に開催。 ・引き続き、GLドローン、BDAS及びGLドローンによる藻場計測マニュアルの開発を実施する。	・引き続き、「地球温暖化防止に貢献するブルーカーボンの役割に関する検討会」を開催し、ブルーカーボンをCO2吸収源として活用していくための具体的な検討を行う。 ・GLドローン及びBDASを4月に稼働予定。合わせてGLドローンによる藻場計測マニュアルを公表予定。 ・広域的かつ継続的なデータ取得による環境変化の把握といった課題を解決するため、人工衛星及び音響計測手法を活用したブルーカーボンの高精度データの把握・管理システムの開発・改良を実施する。	国土交通省港湾局
				①横浜港臨港パーク前面に造成した浅場において、アマモ場再生の実証実験及び岩礁性の藻場再生の実証実験を実施。 ②人工干潟「潮彩の渚」において、干潟面の炭素吸収量・排出量の基礎調査（最終年）を実施。 ③事務所構内や小学校敷地内においてアマモの発芽試験を実施。 ④東京湾の湾内広域における炭素の吸収・排出評価を目的とした試験研究を実施。（2年目）	①横浜港臨港パーク前面に造成した浅場において、アマモ場再生の実証実験及び岩礁性の藻場再生の実証実験を実施。 ②人工干潟「潮彩の渚」において、干潟面の炭素吸収量・排出量の基礎調査を踏まえた、調査方法や推定方法の検討を実施。 ③事務所構内や小学校敷地内においてアマモ等の発芽試験を実施 ④東京湾の湾内広域における炭素の吸収・排出評価を目的とした調査研究を実施。（最終年）	①横浜港臨港パーク前面に造成した浅場において、アマモ場再生の実証実験及び岩礁性の藻場再生の実証実験を実施予定。 ②人工干潟「潮彩の渚」において、干潟面の炭素吸収量・排出量の調査方法や推定方法の検討を継続して実施していく予定。 ③試験的な移植を継続し、傾向を整理していく予定。 ④東京湾の湾内広域における炭素の吸収・排出評価を目的とした調査研究（最終年）のとりまとめを行う予定。	①横浜港臨港パーク前面に造成した浅場において、アマモ場再生の実証実験及び岩礁性の藻場再生の実証実験を実施予定。 ②人工干潟「潮彩の渚」において、干潟面の炭素吸収量・排出量の調査方法及び推定方法の検討を引き続き実施予定。 ③事務所構内や小学校敷地内においてアマモ等の発芽試験を実施予定。 ④東京湾の湾内広域における炭素の吸収・排出評価手法の高度化を目的とした調査研究を実施予定。	関東地方整備局港湾空港部
				盤洲干潟でアサリの生息場・CO2吸収源となるコアマモ群落の管理を実施した。また、内房海域でアラメ・ワカメの複合型海中林を造成した。 漁業生産性の向上に資するブルーカーボンの取組を推進するため、令和6年10月に「千葉県ブルーカーボン推進協議会」を設置し、令和7年1月に協議会を開催した。	盤洲干潟でアサリの生息場・CO2吸収源となるコアマモ群落の管理を実施した。また、内房海域でアラメ・ワカメの複合型海中林を造成した。 令和7年10月に漁業関係者、民間企業等に県内外の先進事例等を紹介する研修会を開催した。	取組を継続するとともに、社会実装に向けた準備を行う。 令和8年1月に「千葉県ブルーカーボン推進協議会」を開催する。	取組を継続するとともに、社会実装に向けた準備を行う。 協議会が実施する普及啓発等の活動を通じて多様な関係者の連携を図り、取組の拡大を図る。	千葉県環境生活部 （千葉県農林水産部）
				①市内研究機関、漁業協同組合、市民団体等で構成されるブルーカーボン推進検討会を開催。（1回） ②市民団体と協働し、コアマモ植え付け体験会を実施	①市内研究機関、漁業協同組合、市民団体等で構成されるブルーカーボン推進検討会を開催。（1回） ②三浦半島市町が主催でコアマモ植え付け体験会を実施	ブルーカーボンに関する次年度の取り組み内容について検討する。	引き続き、横須賀市におけるブルーカーボンの取り組みを検討する。	横須賀市経営企画部
		生物共生型港湾構造物の整備・改修	生物と共生する港湾構造物の整備を行う。	横浜港新本牧地区において、多様な生物環境を実現するための実証実験として、護岸（防波）南側、東側及び護岸(防波)Aに生物共生構造を設置し、設置後の環境の遷移についてモニタリングを実施。	横浜港新本牧地区において、多様な生物環境を実現するための実証実験として、生物共生構造を設置した護岸（防波）A、南側及び東側の環境の遷移についてモニタリングを実施。	横浜港新本牧地区において、多様な生物環境を実現するための実証実験として、生物共生構造を設置した護岸（防波）A、南側及び東側の環境の遷移についてモニタリングを継続実施予定。	横浜港新本牧地区において、多様な生物環境を実現するための実証実験として、生物共生構造を設置した護岸（防波）A、南側及び東側の環境の遷移についてモニタリングを継続実施予定。	関東地方整備局港湾空港部
				北下浦漁港海岸侵食対策事業の変更計画の承認	北下浦漁港海岸侵食対策事業の藻場調査を実施し、設計委託を実施中	設計委託を完了し、整備内容について国との協議を行う。	離岸堤の整備を実施予定。	横須賀市港湾部
		浮遊ごみの回収	海面を浮遊するゴミ・油について、海域環境整備船等にて回収を行う。	清掃船（べいくりん）により浮遊ゴミを70．5㎥回収。	清掃船（べいくりん）により浮遊ゴミを11．7㎥回収。	清掃船（べいくりん）により浮遊ゴミを回収予定。	清掃船（べいくりん）により浮遊ゴミを回収予定。	関東地方整備局港湾空港部
				千葉港にて浮遊ゴミを1445.3㎥回収。 木更津港にて浮遊ゴミを313.0㎥回収。	千葉港にて浮遊ゴミを742.5㎥回収。 木更津港にて浮遊ゴミを548.0㎥回収。	引き続き千葉港及び木更津港の浮遊ゴミの回収を行う。	令和8年度も引き続き千葉港及び木更津港の浮遊ゴミ等の回収を行う。	千葉県県土整備部
				清掃船により浮遊ゴミを1,779㎥回収。	清掃船により浮遊ゴミを683.5㎥回収。	清掃船により浮遊ゴミを回収予定。	実施予定。	東京都港湾局
				清掃船により海上漂流物を227.70t回収。	清掃船により海上漂流物を126.46t回収。	清掃船による海上漂流ゴミの回収を実施する。	清掃船による海上漂流ゴミの回収を実施する。	横浜市港湾局
				川崎港にて、清掃船により浮遊ゴミを236㎥回収。	川崎港にて、清掃船により浮遊ゴミを93㎥回収。	引き続き取組を継続する。	引き続き取組を継続する。	川崎市港湾局
		干潟・浅場等の保全・再生・創出	水質改善や生物多様性の確保に資する干潟・浅場等の保全・再生・創出を行う。	①横浜港臨港パーク前面に造成した浅場及び岩礁において、多様な生物環境を実現するため、実証実験を実施。 ②羽田空港沖に造成した浅場において、多様な生物環境を実現するため、実証実験を実施。	①横浜港臨港パーク前面に造成した浅場及び岩礁において、多様な生物環境を実現するため、実証実験を実施。 ②羽田空港沖において、多様な生物環境を実現するため、引き続き浅場造成を実施。	①横浜港臨港パーク前面に造成した浅場及び岩礁において、多様な生物環境を実現するため、実証実験を実施予定。 ②羽田空港沖において、多様な生物環境を実現するため、引き続き浅場造成を実施。	①横浜港臨港パーク前面に造成した浅場及び岩礁において、多様な生物環境を実現するため、実証実験を実施。 ②羽田空港沖において、多様な生物環境を実現するため、引き続き浅場造成を実施。	関東地方整備局港湾空港部
				有明親水海浜公園において砂浜整備（設計）を実施。	有明親水海浜公園において砂浜整備（工事）に着手。	有明親水海浜公園において砂浜整備（工事）を継続予定。	令和8年度に開園を予定。	東京都港湾局
				臨港パーク先端部の藻場・浅場、人工海浜等の整備に伴う護岸整備を実施。	臨港パーク先端部の藻場・浅場、人工海浜等の整備に伴う護岸整備を実施。	臨港パーク先端部の藻場・浅場、人工海浜等の整備を実施予定。	臨港パーク先端部の藻場・浅場、人工海浜等の整備を実施予定。	横浜市港湾局
		覆砂	生物多様性にも寄与する底質の改善を目的とした覆砂を行う。	運河部において覆砂を約1,200㎥実施。	—	—	実施予定。	東京都港湾局
		汚泥しゅんせつ	底泥から溶出する汚濁物質の低減を図るため、底泥の除去を行う。	運河部において汚泥浚渫を約7,000㎥実施。	—	—	実施予定。	東京都港湾局
		深堀跡の埋め戻し	周囲が急傾斜で、夏期には内部が貧酸素状態となるなど、漁場機能が低下している深掘跡を、良質な水底土砂を活用して埋め戻し、漁場の機能を改善する。	①海域における建設発生土を有効活用し、川崎港東扇島沖に存在する深掘跡埋め戻しを実施。 ②陸上建設発生土を有効活用し、千葉県富津沖に存在する窪地の埋め戻しを実施。	①海域における建設発生土を有効活用し、川崎港東扇島沖に存在する深掘跡埋め戻しを実施。 ②陸上建設発生土を有効活用し、千葉県富津沖に存在する窪地の埋め戻しを実施。	①– ②陸上建設発生土を有効活用し、千葉県富津沖に存在する窪地の埋め戻しを実施。	①海域における建設発生土を有効活用し、川崎港東扇島沖に存在する深掘跡埋め戻しを実施。 ②陸上建設発生土を有効活用し、千葉県富津沖に存在する窪地の埋め戻しを実施。	関東地方整備局港湾空港部
				千葉港及び湾奥部において、深掘跡の埋め戻しを実施。	千葉港及び湾奥部において、深掘跡の埋め戻しを実施。	引き続き、千葉港において、深掘跡の埋め戻しを実施する。	引き続き、千葉港及び湾奥部において、深掘跡の埋め戻しを実施する。	千葉県環境生活部 （千葉県農林水産部）
		漁業活動の活性化	漁業者や漁業団体による漁業の活性化に係る取組を支援する。	計17地区において、漁業者等が実施する干潟の保全に係る活動（耕うん、有害生物の駆除等）を支援した。漁場再生事業を推進するため、関係者による協議会を開催した。	計17地区において、漁業者等が実施する干潟の保全に係る活動（耕うん、有害生物の駆除等）を支援した。	引き続き、漁業者等が実施する干潟の保全に係る活動を支援し、アサリ等の二枚貝資源の増大に取り組むほか、関係者による協議会を開催する。	引き続き、漁業者等が実施する干潟の保全に係る活動を支援し、アサリ等の二枚貝資源の増大に取り組むほか、関係者による協議会を開催する。	千葉県環境生活部 （千葉県農林水産部）
				①漁業組合が実施する「横須賀港伊勢町沖漁場改良事業」に対して、水域占用許可を行った。 ②漁業協同組合等と、今後の漁業活動の活性化への支援内容について協議を行った。	①漁業組合が実施する「横須賀港伊勢町沖漁場改良事業」に対して、水域占用許可を行った。 ②漁業協同組合等と、今後の漁業活動の活性化への支援内容について協議を行った。	①漁業組合が実施する「横須賀港伊勢町沖漁場改良事業」に対して、水域占用許可を行う。 ②漁業協同組合等と、今後の漁業活動の活性化への支援内容について、引き続き協議を行う。	①漁業組合が実施する「横須賀港伊勢町沖漁場改良事業」に対して、水域占用許可を行う。 ②漁業協同組合等と、今後の漁業活動の活性化への支援内容について、引き続き協議を行う。	①横須賀市港湾部 ②横須賀市経済部
	美しく、快適に水遊びのできる海	浮遊ごみの回収	海面を浮遊するゴミ・油について、海域環境整備船等にて回収を行う。	清掃船（べいくりん）により浮遊ゴミを70．5㎥回収。	清掃船（べいくりん）により浮遊ゴミを11．7㎥回収。	清掃船（べいくりん）により浮遊ゴミを回収予定。	清掃船（べいくりん）により浮遊ゴミを回収予定。	関東地方整備局港湾空港部
				千葉港にて浮遊ゴミを1445.3㎥回収。 木更津港にて浮遊ゴミを313.0㎥回収。	千葉港にて浮遊ゴミを742.5㎥回収。 木更津港にて浮遊ゴミを548.0㎥回収。	引き続き千葉港及び木更津港の浮遊ゴミの回収を行う。	令和8年度も引き続き千葉港及び木更津港の浮遊ゴミ等の回収を行う。	千葉県県土整備部
				清掃船により浮遊ゴミを1,779㎥回収。	清掃船により浮遊ゴミを683.5㎥回収。	清掃船により浮遊ゴミを回収予定。	実施予定。	東京都港湾局
				清掃船により海上漂流物を227.70t回収。	清掃船により海上漂流物を126.46t回収。	清掃船による海上漂流ゴミの回収を実施する。	清掃船による海上漂流ゴミの回収を実施する。	横浜市港湾局
				川崎港にて、清掃船により浮遊ゴミを236㎥回収。	川崎港にて、清掃船により浮遊ゴミを93㎥回収。	引き続き取組を継続する。	引き続き取組を継続する。	川崎市港湾局
		NPOや企業、漁業者等による海底ゴミの回収や海浜・干潟の清掃活動の推進	NPOや企業、漁業者等による海底ゴミの回収や海浜・干潟の清掃活動を推進する。	「千葉県河川海岸アダプトプログラム」により、県が管理する海岸において、清掃活動などを実施している団体等に対し、必要な機械器具の貸与等の支援を実施。	「千葉県河川海岸アダプトプログラム」により、県が管理する海岸において、清掃活動などを実施している団体等に対し、必要な機械器具の貸与等の支援を実施。	「千葉県河川海岸アダプトプログラム」により、県が管理する海岸において、清掃活動などを実施している団体等に対し、必要な機械器具の貸与等の支援を行っていく。	「千葉県河川海岸アダプトプログラム」により、県が管理する海岸において、清掃活動などを実施している団体等に対し、必要な機械器具の貸与等の支援を行う予定。	千葉県環境生活部 （千葉県県土整備部）
				ボランティアによるお台場海浜公園の海浜清掃活動を49回実施。	ボランティアによるお台場海浜公園の海浜清掃活動を53回実施。	実施予定。	ボランティアによる海浜清掃活動を実施予定。	東京都港湾局
				令和6年10月20日に山下公園海底清掃大作戦を開催し、ボランティアダイバーにより海底清掃を実施。	令和7年11月2日に山下公園海底清掃大作戦を開催し、ボランティアダイバーにより海底清掃を実施。	—	山下公園海底清掃大作戦を開催し、ボランティアダイバーによる海底清掃を実施予定。	横浜市港湾局
				横須賀港走水地区において、近隣の小中学生を中心としたボランティアにより漂着ごみを回収するイベント「東京湾クリーンアップ大作戦inはしりみず'24」を開催した。100人が参加し、約60kgの漂着ゴミを回収した。 横須賀港平成地区において、（公財）日本釣振興会神奈川支部主催の「海辺つり公園水中清掃」に市として協力し、約52kgの海中ゴミを回収した。	市が主体となって横須賀港走水地区において、近隣の小中学生を中心としたボランティアにより漂着ごみを回収するイベント「東京湾クリーンアップ大作戦inはしりみず'25」を開催予定だったが、悪天候により中止とした。 海辺つり公園おいて、水中清掃に協力した。	「東京湾クリーンアップ大作戦inはしりみず」の実施、「海辺つり公園水中清掃」への協力について、調整を進める。	「東京湾クリーンアップ大作戦inはしりみず」を実施、「海辺つり公園水中清掃」へ協力する。	横須賀市港湾部
楽しく、親しみやすい東京湾の創出	楽しさあふれるイベントの開催	環境教育・体験活動等の推進	東京湾の自然環境を活かした環境教育・体験活動等を行う。	東京湾各地において、マリンレジャー普及を図るため、マリン関連団体からなる「UMI協議会」参加団体が、ボート試乗体験等のイベントを5回開催。 ・メディアマリン体験乗船会（5月23日） ・隅田川水面の祭典2024 「Marine Sports Festival in 隅田川」（5月26日） ・横須賀うみかぜカーニバル2024(深浦ボートパーク:6月9日/浦賀ボートパーク:7月21日/うみかぜ公園:9月8日）	東京湾各地において、マリンレジャー普及を図るため、マリン関連団体からなる「UMI協議会」参加団体が、ボート試乗体験等のイベントを4回開催。 ・隅田川水面の祭典2025 「Marine Sports Festival in 隅田川」（5月25日） ・横須賀うみかぜカーニバル2025(浦賀ボートパーク:6月15日/深浦ボートパーク:7月13日/うみかぜ公園:9月23日）	–	引き続き、マリンレジャー普及のための取り組みを継続する予定。	国土交通省海事局
				①UMIプロ企業を対象にアマモ場再生体験イベントを、NPO、地元小学校等と協働して16回開催。 ②一般市民を対象にワカメ種付け・採取イベントを、NPO、地元自治体、企業等と協働して各1回開催。 ③地元学区の小学校や市内校による干潟体験調査や夏休み親子体験調査会等のイベントを計8回開催。 干潟の生物を展示しつつ出前講座を、「海の日」の直前に小学校2校で各々1回開催。 小学校の発表会へ出席し、取組をPR。	①UMIプロ企業を対象にアマモ場再生体験イベントを、NPO、地元小学校等と協働して25回開催。 ②一般市民を対象にワカメ種付けイベントを、NPO、地元自治体、企業等と協働して1回開催。 ③地元学区の小学校や市内校による干潟体験調査や夏休み親子体験調査会等のイベントを計10回開催。 干潟の生物を展示しつつ出前講座を、「海の日」の直前に小学校1校で1回開催。	①　– ②一般市民を対象にワカメ採取イベントを、NPO、地元自治体、企業等と協働して1回開催予定。 ③アマモ移植に関する体験会や出前講座を予定。 総合学習発表会に出席し、参加児童による年間学習の振り返りの授業を聴講予定。	①UMIプロ企業を対象にアマモ場再生体験イベントを、NPO、地元小学校等と協働して20回程度開催予定。 ②一般市民を対象にワカメ種付け・採取イベントを、NPO、地元自治体、企業等と協働して各1回開催。 ③地元学区の小学校や市内校による干潟体験調査や夏休み親子体験調査会等のイベントを計8回開催予定。 干潟の生物を展示しつつ出前講座を、「海の日」の直前に小学校2校で各々1回開催予定。 小学校の発表会へ出席し、取組をPR予定。	関東地方整備局港湾空港部
				千葉県立中央博物館内での常設展示に加え、令和6年度にはマリンサイエンスギャラリー「アサクサノリ2—ノリの世界—」を開催。「東京湾で貝殻と貝の化石を探そう」「数千年前の地層と化石」「海岸で化石をさがそう」「にぼしで学ぶ魚のひみつ」「バケツ一杯の水から海の魚を探る」「海の体験コーナー」「みんなで工作　海の生きもの」「海岸で貝をさがそう」「深海生物を見てみよう」などの東京湾に関連した観察会や講座等を開催。	千葉県立中央博物館内での常設展示に加え、令和7年度には特別展「房総海の幸大百科－千葉の豊かな海と食文化－」を開催。「東京湾で貝殻と貝の化石を探そう」「海の幸の缶バッジをつくろう」「貝合わせであそぼう」「オリジナルミニ大漁旗をつくろう」「海岸で石ころをひろおう」「にぼしで学ぶ魚のひみつ」「海の体験コーナー」「みんなで工作　海の生きもの」などの東京湾に関連した観察会や講座等を開催。	千葉県立中央博物館内での常設展示、マリンサイエンスギャラリー「うみ鳥っぷ２－海鳥と旅する食物連鎖の世界－」に加え、「海岸で貝をさがそう」「貝化石をひろってみよう」「深海の生き物にさわってみよう」「海岸で化石をさがそう」「海の体験コーナー」などの東京湾に関連した観察会や講座等を開催する。	マリンサイエンスギャラリーを5月まで開催するとともに、海に関連する各種講座等、引き続き様々な様態の施策を実施する。	千葉県環境生活部環境政策課（文化振興課（中央博物館））
				船橋市において、漁業者等が実施する千葉県内外の住民、地域の小学校の教師及び児童を対象とした干潟の環境教育や漁業体験の取組を支援した。	船橋市において、漁業者等が実施する千葉県内外の住民、地域の小学校の教師及び児童を対象とした干潟の環境教育や漁業体験の取組を支援した。	引き続き、干潟の環境教育や漁業体験の取組を支援する。	引き続き、干潟の環境教育や漁業体験の取組を支援する。	千葉県環境生活部 （千葉県農林水産部）
				・令和6年8月19日に八景島シーパラダイスにおいて、小中学生が東京湾内に生息する生きものを観察する「グリーンキッズ2024・夏～東京湾の生きもの観察ツアー～」を実施（計35人参加）。 ・令和6年12月15日に八景島シーパラダイスにおいて、小中学生がわかめの生育する様子や海洋生物が温室効果ガスを吸収すること等について学ぶ「横浜ブルーカーボン　わかめ植付けイベント」を実施（計30人参加）。 ・令和7年3月22日に八景島シーパラダイスにおいて、小中学生がわかめの生育する様子や海洋生物が温室効果ガスを吸収すること等について学ぶ「横浜ブルーカーボン　わかめ植付けイベント」を実施（計50人参加）。 ・令和7年3月に横浜市立緑園義務教育学校の5年生を対象に株式会社八景島及び学校法人フェリス女学院大学（横浜市地球温暖化対策推進協議会会員）と連携し、12月に植付けた「わかめの収穫」、及び、児童が考案したわかめを使用した給食を提供。	（実績なし）	・令和8年3月20日に八景島シーパラダイスにおいて、GREEN×EXPO2027の１年前イベントとしてブルーカーボン普及啓発を実施予定。	引き続き各種イベント等を通じてブルーカーボンに関する普及啓発を実施予定。	横浜市　脱炭素・GREEN×EXPO推進局
				川崎港において、各種団体等による夏休み川崎港見学会（年3回）、外航船見学会（年1回）、川崎みなと祭りを実施。	川崎港において、各種団体等による夏休み川崎港見学会（年2回）、外航船見学会（年1回）、川崎みなと祭りを実施。	引き続き取組を継続する。	引き続き取組を継続する。	川崎市港湾局
				横須賀港内（深浦地区・平成地区・浦賀地区）において「横須賀うみかぜカーニバル2024」を開催し、ボート試乗体験などのマリンアクティビティのほか、海洋環境に関する啓発活動を行った。	横須賀港内（深浦地区・平成地区・浦賀地区）において「横須賀うみかぜカーニバル2025」を開催し、ボート試乗体験などのマリンアクティビティのほか、海洋環境に関する啓発活動を行った。	「横須賀うみかぜカーニバル」の実施内容を検討する。	関係団体と調整のうえ、「横須賀うみかぜカーニバル」を実施する。	横須賀うみかぜカーニバル実行委員会（横須賀市等）
		「江戸前」をはじめとした県水産物の魚食普及推進	各種イベント等の機会を捉え、資料を配布するなど「江戸前」をはじめとした県産水産物を広く紹介する。	「江戸前船橋瞬〆すずき」、「三番瀬ホンビノス貝」、「手入れ海苔（焼のり）」等千葉ブランド水産物の紹介冊子をフェア等各種イベントで配布し、「江戸前」をはじめとした県産水産物を広く紹介。	「江戸前船橋瞬〆すずき」、「三番瀬ホンビノス貝」、「手入れ海苔（焼のり）」等千葉ブランド水産物の紹介冊子をフェア等各種イベントで配布し、「江戸前」をはじめとした県産水産物を広く紹介。	引き続き、フェア等の各種イベントで関係冊子を配布し、「江戸前」をはじめとした県産水産物を広く紹介する。	フェア等の各種イベントでの関係冊子の配布等、「江戸前」をはじめとした県産水産物の認知度向上・販売促進に係る取組を継続的に実施していく。	千葉県環境生活部 （千葉県農林水産部）
				横須賀の海の幸に触れてもらう機会として、「よこすかさかな祭り」への支援を実施。	横須賀の海の幸に触れてもらう機会として、「よこすかさかな祭り」への支援を実施。	主催者等の関係者と次年度の「よこすかさかな祭り」の内容について協議をしていく。	協力団体と調整のうえ、「よこすかさかな祭り」を実施する予定。	よこすかさかな祭り実行委員会（横須賀市等）
	海辺に行きやすく、身近で安心できる海	浮遊ごみの回収	海面を浮遊するゴミ・油について、海域環境整備船等にて回収を行う。	清掃船（べいくりん）により浮遊ゴミを70．5㎥回収。	清掃船（べいくりん）により浮遊ゴミを11．7㎥回収。	清掃船（べいくりん）により浮遊ゴミを回収予定。	清掃船（べいくりん）により浮遊ゴミを回収予定。	関東地方整備局港湾空港部
				千葉港にて浮遊ゴミを1445.3㎥回収。 木更津港にて浮遊ゴミを313.0㎥回収。	千葉港にて浮遊ゴミを742.5㎥回収。 木更津港にて浮遊ゴミを548.0㎥回収。	引き続き千葉港及び木更津港の浮遊ゴミの回収を行う。	令和8年度も引き続き千葉港及び木更津港の浮遊ゴミ等の回収を行う。	千葉県県土整備部
				清掃船により浮遊ゴミを1,779㎥回収。	清掃船により浮遊ゴミを683.5㎥回収。	清掃船により浮遊ゴミを回収予定。	実施予定。	東京都港湾局
				清掃船により海上漂流物を227.70t回収。	清掃船により海上漂流物を126.46t回収。	清掃船による海上漂流ゴミの回収を実施する。	清掃船による海上漂流ゴミの回収を実施する。	横浜市港湾局
				川崎港にて、清掃船により浮遊ゴミを236㎥回収。	川崎港にて、清掃船により浮遊ゴミを93㎥回収。	引き続き取組を継続する。	引き続き取組を継続する。	川崎市港湾局

目標要素	小目標	施策・プロジェクトの名称	施策・プロジェクトの概要	具体的な施策実績（令和6年4月～令和7年3月）	具体的な施策実績（令和7年4月～令和7年12月）	今後の施策予定（令和8年1月～令和8年3月）	今後の施策予定（令和8年度）	施策実施部局
活動の環（わ）の拡大	活動の環がつながり、目標の実現のために流域の多様な主体が協力しあう海	NPOや企業、漁業者等による海底ゴミの回収や海浜・干潟の清掃活動の推進	NPOや企業、漁業者等による海底ゴミの回収や海浜・干潟の清掃活動を推進する。	「千葉県河川海岸アダプトプログラム」により、県が管理する海岸において、清掃活動などを実施している団体等に対し、必要な機械器具の貸与等の支援を実施。	「千葉県河川海岸アダプトプログラム」により、県が管理する海岸において、清掃活動などを実施している団体等に対し、必要な機械器具の貸与等の支援を実施。	「千葉県河川海岸アダプトプログラム」により、県が管理する海岸において、清掃活動などを実施している団体等に対し、必要な機械器具の貸与等の支援を行っていく。	「千葉県河川海岸アダプトプログラム」により、県が管理する海岸において、清掃活動などを実施している団体等に対し、必要な機械器具の貸与等の支援を行う予定。	千葉県環境生活部 （千葉県県土整備部）
				ボランティアによるお台場海浜公園の海浜清掃活動を49回実施。	ボランティアによるお台場海浜公園の海浜清掃活動を53回実施。	実施予定。	ボランティアによる海浜清掃活動を実施予定。	東京都港湾局
				令和6年10月20日に山下公園海底清掃大作戦を開催し、ボランティアダイバーにより海底清掃を実施。	令和7年11月２日に山下公園海底清掃大作戦を開催し、ボランティアダイバーにより海底清掃を実施。	―	山下公園海底清掃大作戦を開催し、ボランティアダイバーによる海底清掃を実施予定。	横浜市港湾局
				横須賀港走水地区において、近隣の小中学生を中心としたボランティアにより漂着ごみを回収するイベント「東京湾クリーンアップ大作戦inはしりみず'24」を開催した。100人が参加し、約60kgの漂着ゴミを回収した。 横須賀港平成地区において、（公財）日本釣振興会神奈川支部主催の「海辺つり公園水中清掃」に市として協力し、約52kgの海中ゴミを回収した。	市が主体となって横須賀港走水地区において、近隣の小中学生を中心としたボランティアにより漂着ごみを回収するイベント「東京湾クリーンアップ大作戦inはしりみず'25」を開催予定だったが、悪天候により中止とした。 海辺つり公園おいて、水中清掃に協力した。	「東京湾クリーンアップ大作戦inはしりみず'」の実施、「海辺つり公園水中清掃」への協力について、調整を進める。	「東京湾クリーンアップ大作戦inはしりみず'」を実施、「海辺つり公園水中清掃」へ協力する。	横須賀市港湾部
		NPOや企業、漁業者等による藻場等の造成の推進	NPOや企業、漁業者等による藻場等を造成する際の支援等を行う。	UMIプロ企業を対象にアマモ場再生体験イベントを、NPO、地元小学校等と協働して16回開催。	UMIプロ企業を対象にアマモ場再生体験イベントを、NPO、地元小学校等と協働して25回開催。	－	UMIプロ企業を対象にアマモ場再生体験イベントを、NPO、地元小学校等と協働して20回程度開催予定。	関東地方整備局港湾空港部
				「令和の里海づくり」モデル事業による支援の実施、「今後の里海づくりのあり方検討会」を通じて、環境省が取り組むべき里海づくりのあり方に関する提言を取りまとめた。	令和6年度に検討された、今後の里海づくりのあり方に関する提言を踏まえて、戦略的に里海づくりに取り組む地域の基盤構築に向けた支援を実施した。また、良好な水環境創出の一環として運用しているプラットフォームを活用し、里海づくりネットワークを立ち上げた。	引き続き、戦略的に里海づくりに取り組む地域の基盤構築に向けた支援を実施するとともに、里海づくりネットワークの運用や里海づくりシンポジウムを実施する。また、これまでの取組や提言等を踏まえて、過年度に作成された里海づくりの手引書の改定作業を行う。	令和7年度に改定された、里海づくりの手引書の活用、良好な水環境創出の一環として里海づくりネットワークの運用、戦略的に里海づくりに取り組む地域の基盤構築に向けた支援などと通じて、更なる取組の拡大を目指す。	環境省水・大気環境局海洋環境課海域環境管理室
				計4地区において、漁業者等が実施する藻場の保全に係る活動（母藻の設置、食害生物の除去等）を支援した。	計4地区において、漁業者等が実施する藻場の保全に係る活動（母藻の設置、食害生物の除去等）を支援した。	引き続き、漁業者等が実施する藻場の保全に係る活動を支援し、藻場の保全・回復に努める。	引き続き、漁業者等が実施する藻場の保全に係る活動を支援し、藻場の保全・回復に努める。	千葉県環境生活部 （千葉県農林水産部）
		環境教育・体験活動等の推進	東京湾の自然環境を活かした環境教育・体験活動等を行う。	東京湾各地において、マリンレジャー普及を図るため、マリン関連団体からなる「UMI協議会」参加団体が、ボート試乗体験等のイベントを5回開催。 ・メディアマリン体験乗船会（5月23日） ・隅田川水面の祭典2024 「Marine Sports Festival in 隅田川」（5月26日） ・横須賀うみかぜカーニバル2024(深浦ボートパーク:6月9日/浦賀ボートパーク:7月21日/うみかぜ公園:9月8日）	東京湾各地において、マリンレジャー普及を図るため、マリン関連団体からなる「UMI協議会」参加団体が、ボート試乗体験等のイベントを4回開催。 ・隅田川水面の祭典2025 「Marine Sports Festival in 隅田川」（5月25日） ・横須賀うみかぜカーニバル2025(浦賀ボートパーク:6月15日/深浦ボートパーク:7月13日/うみかぜ公園:9月23日）	－	引き続き、マリンレジャー普及のための取り組みを継続する予定。	国土交通省海事局
				①UMIプロ企業を対象にアマモ場再生体験イベントを、NPO、地元小学校等と協働して16回開催。 ②一般市民を対象にワカメ種付け・採取イベントを、NPO、地元自治体、企業等と協働して各々１回開催。 ③地元学区の小学校や市内校による干潟体験調査や夏休み親子体験調査会等のイベントを計8回開催。 干潟の生物を展示しつつ出前講座を、「海の日」の直前に小学校2校で各々1回開催。 小学校の発表会へ出席し、取組をPR。	①UMIプロ企業を対象にアマモ場再生体験イベントを、NPO、地元小学校等と協働して25回開催。 ②一般市民を対象にワカメ種付けイベントを、NPO、地元自治体、企業等と協働して1回開催。 ③地元学区の小学校や市内校による干潟体験調査や夏休み親子体験調査会等のイベントを計10回開催。 干潟の生物を展示しつつ出前講座を、「海の日」の直前に小学校1校で1回開催。	①　－ ②一般市民を対象にワカメ採取イベントを、NPO、地元自治体、企業等と協働して1回開催予定。 ③アマモ移植に関する体験会や出前講座を予定。 総合学習発表会に出席し、参加児童による年間学習の振り返りの授業を聴講予定。	①UMIプロ企業を対象にアマモ場再生体験イベントを、NPO、地元小学校等と協働して20回程度開催予定。 ②一般市民を対象にワカメ種付け・採取イベントを、NPO、地元自治体、企業等と協働して各々１回開催。 ③地元学区の小学校や市内校による干潟体験調査や夏休み親子体験調査会等のイベントを計8回開催予定。 干潟の生物を展示しつつ出前講座を、「海の日」の直前に小学校2校で各々1回開催予定。 小学校の発表会へ出席し、取組をPR予定。	関東地方整備局港湾空港部
				千葉県立中央博物館内での常設展示に加え、令和６年度にはマリンサイエンスギャラリー「アサクサノリ2―ノリの世界―」を開催。「東京湾で貝殻と貝の化石を探そう」「数千年前の地層と化石」「海岸で化石をさがそう」「にぼしで学ぶ魚のひみつ」「バケツ一杯の水から海の魚を探る」「海の体験コーナー」「みんなで工作　海の生きもの」「海岸で貝をさがそう」「深海生物を見てみよう」などの東京湾に関連した観察会や講座等を開催。	千葉県立中央博物館内での常設展示に加え、令和7年度には特別展「房総海の幸大百科－千葉の豊かな海と食文化－」を開催。「東京湾で貝殻と貝の化石を探そう」「海の幸の缶バッジをつくろう」「貝合わせであそぼう」「オリジナルミニ大漁旗をつくろう」「海岸で石ころをひろおう」「にぼしで学ぶ魚のひみつ」「海の体験コーナー」「みんなで工作　海の生きもの」などの東京湾に関連した観察会や講座等を開催。	千葉県立中央博物館内での常設展示、マリンサイエンスギャラリー「うみ鳥っぷ２－海鳥と旅する食物連鎖の世界－」に加え、「海岸で貝をさがそう」「貝化石をひろってみよう」「深海の生き物にさわってみよう」「海岸で化石をさがそう」「海の体験コーナー」などの東京湾に関連した観察会や講座等を開催する。	マリンサイエンスギャラリーを5月まで開催するとともに、海に関連する各種講座等、引き続き様々な様態の施策を実施する。	千葉県環境生活部環境政策課 （文化振興課（中央博物館））
				船橋市において、漁業者等が実施する千葉県内外の住民、地域の小学校の教師及び児童を対象とした干潟の環境教育や漁業体験の取組を支援した。	船橋市において、漁業者等が実施する千葉県内外の住民、地域の小学校の教師及び児童を対象とした干潟の環境教育や漁業体験の取組を支援した。	引き続き、干潟の環境教育や漁業体験の取組を支援する。	引き続き、干潟の環境教育や漁業体験の取組を支援する。	千葉県環境生活部 （千葉県農林水産部）
				・令和6年8月19日に八景島シーパラダイスにおいて、小中学生が東京湾内に生息する生きものを観察する「グリーンキッズ2024・夏～東京湾の生きもの観察ツアー～」を実施（計35人参加）。 ・令和6年12月15日に八景島シーパラダイスにおいて、小中学生がわかめの生育する様子や海洋生物が温室効果ガスを吸収すること等について学ぶ「横浜ブルーカーボン　わかめ植付けイベント」を実施（計30人参加）。 ・令和7年3月22日に八景島シーパラダイスにおいて、小中学生がわかめの生育する様子や海洋生物が温室効果ガスを吸収すること等について学ぶ「横浜ブルーカーボン　わかめ植付けイベント」を実施（計50人参加）。 ・令和7年3月に横浜市立緑園義務教育学校の５年生を対象に株式会社八景島及び学校法人フェリス女学院大学（横浜市地球温暖化対策推進協議会会員）と連携し、12月に植付けた「わかめの収穫」、及び、児童が考案したわかめを使用した給食を提供。	（実績なし）	・令和8年3月20日に八景島シーパラダイスにおいて、GREEN×EXPO2027の１年前イベントとしてブルーカーボン普及啓発を実施予定。	引き続き各種イベント等を通じてブルーカーボンに関する普及啓発を実施予定。	横浜市　脱炭素・GREEN×EXPO推進局
				川崎港において、各種団体等による夏休み川崎港見学会（年3回）、外航船見学会（年1回）、川崎みなと祭りを実施。	川崎港において、各種団体等による夏休み川崎港見学会（年2回）、外航船見学会（年1回）、川崎みなと祭りを実施。	引き続き取組を継続する。	引き続き取組を継続する。	川崎市港湾局
				横須賀港内（深浦地区・平成地区・浦賀地区）において「横須賀うみかぜカーニバル2024」を開催し、ボート試乗体験などのマリンアクティビティのほか、海洋環境に関する啓発活動を行った。	横須賀港内（深浦地区・平成地区・浦賀地区）において「横須賀うみかぜカーニバル2025」を開催し、ボート試乗体験などのマリンアクティビティのほか、海洋環境に関する啓発活動を行った。	「横須賀うみかぜカーニバル」の実施内容を検討する。	関係団体と調整のうえ、「横須賀うみかぜカーニバル」を実施する。	横須賀うみかぜカーニバル実行委員会（横須賀市ほか）